

会 議 録 (要 旨)

会 議 名	令和4年度第2回武蔵村山市医療救護所設置検討委員会
開 催 日 時	令和5年3月1日(水) 午後1時30分～午後2時30分
開 催 場 所	さくらホール1階集会室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：藤田委員、稲富委員、木崎委員、小山委員、宇津木委員、 米津委員、大久保委員、名越委員、西山委員、島田委員、 武蔵村山病院 若松氏 欠席者：神山委員 事務局：健康推進課長、健康推進課係長、健康推進課主任、防災安全課長、防災安全課係長、防災安全課主任
議 題	報告事項 (1) 第1回武蔵村山市医療救護所設置検討委員会（書面開催）の会議録について 議題 (1) 武蔵村山市緊急医療救護所活動マニュアルの検討について (2) その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題(1)について 以下のとおり、課題を整理した。 ・緊急医療救護所の設置に必要な資器材等の検討 ・市で備蓄している医療資器材7点セットの内容の見直し ・妊産婦の受け入れ体制の検討 ・災害時の市内医療機関等の診療体制回復時期の共有 ・夜間や休診日等に発災した場合の対応など、より具体的なケースを想定した行動指針の検討 ・病院職員、市職員及び医師会等からの参集者の役割分担の明確化、救護所運営体制の構築
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。) (○=委員、 ●=事務局)	報告事項 (1) 第1回武蔵村山市医療救護所設置検討委員会（書面開催）の会議録について 会議録の内容に訂正がある場合は、3月10日（金）までに連絡するよう事務局から委員へ依頼した。 議題 (1) 武蔵村山市緊急医療救護所活動マニュアルの検討について マニュアルの内容を各章毎に事務局から説明し、委員へ質問や意見を募った。 (主な質問や意見等) ○ 緊急医療救護所の設営に必要な資器材等について質問する。日本における過去の震災等で、こういうものが必要だったという資料などはあるのか伺いたい。 ● 手元に資料がないため、確認する。 ○ 医薬品以外の医療器具も市に用意してもらえるという認識でよいか伺いたい。 ● 現在、市で備蓄している医療資器材7点セットには、一部の医療器具も含まれているが、今後この内容が適切かどうかを審議し、見直していく考えである。 ○ 災害時に妊産婦が普段通院している病院へ行けない場合は、武

蔵村山病院隣接のプリンスの丘公園に開設される予定の緊急医療救護所で対応する認識でよいか伺いたい。

- これまで議論してきていないため、今後の検討課題だが、現実的には産科のある武蔵村山病院で対応せざるを得ないのではないか。
- 妊婦が怪我をしていたり、産科的な部分で問題があったり、様々なケースが考えられるので、一律に武蔵村山病院隣接の緊急医療救護所を案内するのは違うと思う。
- 妊婦の場合は、特殊な対応が必要なケースがあるため質問した。医療救護活動全体の流れに、妊婦の事が書かれていない。
- 今後の検討課題とさせていただきます。
- 緊急医療救護所閉鎖後は、市の医療救護活動拠点はいつまで活動するのか伺いたい。
- 市の医療救護活動拠点は、基本は緊急医療救護所の活動拠点ということで、現時点では、緊急医療救護所の閉鎖とともに活動を終了するという考えである。
- 緊急医療救護所が閉鎖しても、避難所等での医療活動は続くため、現実的には医療救護活動拠点の活動を終了は出来ないと思う。
- 各病院には既に災害時のマニュアルがあり、これまでそれに沿った訓練を行ってきた。今回、緊急医療救護所のマニュアルを作成するのに伴い、病院のマニュアルも改定が必要になる。改定にはある程度の時間を要することを承知しておいてほしい。
- 資料編については未確定の部分が多いため、説明は省略する。今後の会議で内容を確認し、作り上げていく考えである。
- 自院のBCPで、災害時には診療体制を72時間以内に回復できるように努めると取り決めているが、他の医療機関等の診療体制回復時期の方針を事前に共有できるとよいと思う。災害時に自院の対応を優先するべきか、緊急医療救護所への対応を優先するべきかを判断する上での参考になると思う。
- これからそのような共有体制を作っていくべきだと思う。この医院はいつ頃再開予定といった情報を整理し、共有できればよいと思う。今後の検討課題である。
- 診療時間内の日中に災害が発生した場合には、30分以内に病院の災害対策本部を設営して、様々な情報を集め、1時間以内には病院の職員だけで診療場所やトリアージポストを設置することもできると思うが、夜間や休日となると難しい。病院としては、夜間は入院患者を守ることを大前提に行動する。発災が夜間であった場合も含め、どれぐらいの人がいつ頃までにどこに集まる、といったような具体的にイメージができるマニュアルにするべきである。病院側の体制を構築していく上でも、それが決まっていないと構築が難しいため、市や委員には考えてほしい。また、救護所へ参集した医師会や薬剤師会などの先生への段階で引継ぎしてよいのか、一般の診療はどうするのか、イオンモールから流れてくる患者に対応できるのかなど、過去の災害の状況を参考にしながら検討し、発災後数時間の動きを具体的に想定すべきである。
- 発災時の武蔵村山市の震度などの情報が分かりやすく得られれば、参集時に迷いなく対応できると思う。
- 発災時は第一小学校に設置されている震度計で計測した情報が気象庁から公表される。また、震度5弱以上であればJアラートも配信されるので、各自情報収集し対応してほしい。
- 地域防災計画はインターネットで閲覧できるのか伺いたい。

庶務担当課	健康福祉部健康推進課健康推進係 (電話:042-565-9315)
-------	--------------------------------------

(日本産業規格A列4番)